



●この説明書は、必ずお施主さまにお渡しください。

■カードキー、タグキーの登録・抹消

■登録… 別売りのカードキーやタグキーを後から追加することで合計8枚まで登録し使用することができます。

■抹消… カードキーやタグキーを1枚でも新たに登録すると今まで登録していたカードキーやタグキーのデータは消去され、再登録しない限り使用することができません。

※追加登録する際は、すでに登録済みの分も全て準備してから登録作業を行ってください。

■カードキー、タグキーの登録手順【開き戸の場合】

①登録するカードキー、タグキーを準備してドアを開け、受信器中央部のキャップ又は、ねじ (M3×5) を取外します。つまようじ、ヘアピンなどの先の細いものを利用して、登録スイッチを押します。(約1秒)  
サムターンが動きデッドボルトが一度出て戻ります。  
※登録スイッチを押してもサムターンが動かない商品もあります。

ピッピッピッとブザーが鳴ります。

②30秒以内にカードキーやタグキーをカードリーダー部にかざします。

登録枚数分ブザーが鳴ります。  
(例：1枚目→ピッ、3枚目→ピッピッピッ)

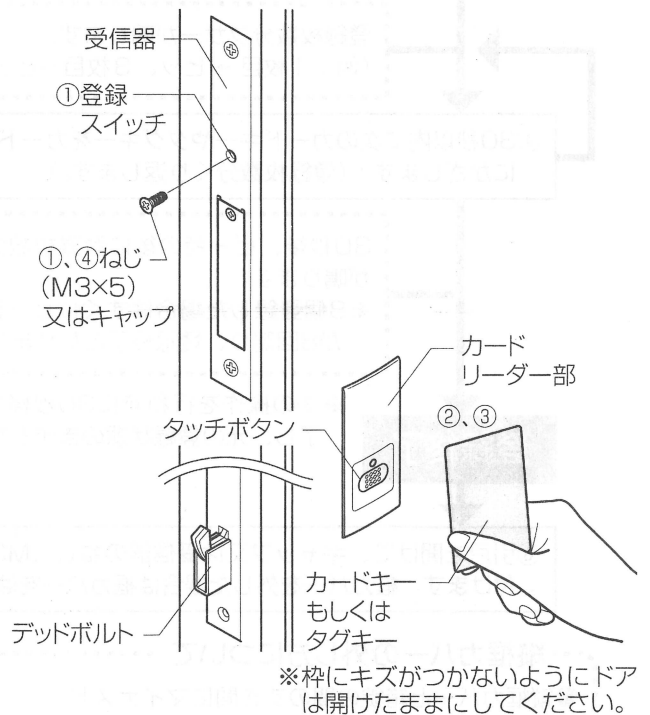
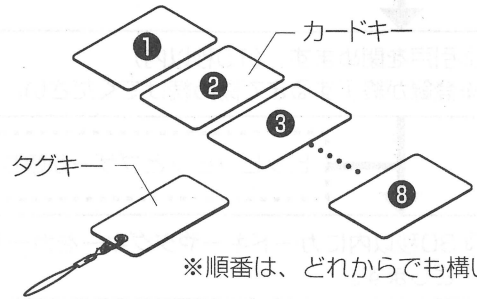
③30秒以内に次のカードキーやタグキーをカードリーダー部にかざします。(登録枚数分くり返します。)

30秒後、ピー音の後に登録枚数分のピッ音が鳴ります。  
※8個登録した場合はすぐにピー音とピッ音が8回鳴り、登録終了となります。

**登録終了**

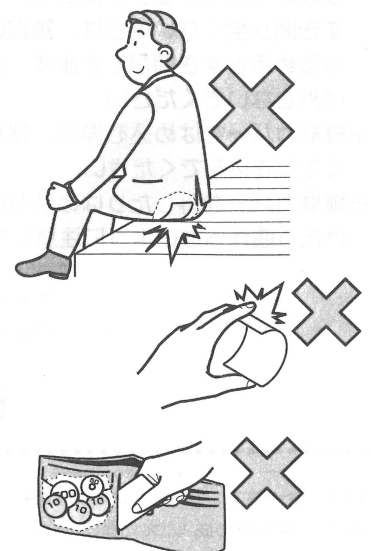
※②の操作を行わずに30秒経つと登録が終了し、元の登録状態のままとなります。

④ねじ (M3×5) 又はキャップを取付けます。



●●●カードキー、タグキー取扱い上のお願い●●●

- 機器の故障や電池切れになるとカードキー、タグキーでの解錠操作ができなくなりますので、必ずカギ (●) を持ってお出かけください。
- ポケットやバッグの中などにに入れて湾曲をくり返さないでください。
- 折り曲げないでください。
- 窓際や車のダッシュボードの上など高温となる場所に置かないでください。
- 穴を開けたり、キズを付けたり表面がへこむほどの衝撃をくわえないでください。
- タグキーをアクセサリと共に取付ける場合、アクセサリとのぶつかり合いで電子回路が破損する場合がありますので軽くて角のないアクセサリを選ぶようお願いいたします。
- 次の条件下では作動しない場合がありますのでご注意ください。
  - ・金属ケースの中に入れて、電波の通り難い材質で覆われた状態でかざした場合
  - ・通信中の無線通信機器 (携帯電話や無線機など) と一緒にかざした場合
  - ・玄関の近くにパソコンやテレビなどノイズを出す電化製品や無線通信式の電化製品がある場合
  - ・小銭のたくさん入った財布に入れてかざした場合
  - ・複数の非接触型ICカードと一緒にかざした場合



## ■カードキー、タグキーの登録手順【引戸の場合】

- ①登録するカードキー、タグキーを準備して引戸を開け、キャップ又は受信器中央部のねじ (M3×5) を取外します。  
 クリップやヘアピンなどの細い棒を利用して、登録スイッチを押します。(約1秒)  
 ※受信器 (登録スイッチ) が縦枠カバーで隠れている商品の場合は、縦枠カバーを外してください。  
 (「縦枠カバーの外し方について」を参照)  
 ※登録スイッチを押す場合に使用する細い棒は、直径2mm以下としてください。  
 ※つまようじなど折れてしまう物は使わないでください。

- ②引戸を閉めます。(10秒以内)  
 ※登録が終了するまで閉め続けてください。

ピッピッピッとブザーが鳴ります。

- ③30秒以内にカードキーやタグキーをカードリーダー部にかざします。

登録枚数分ブザーが鳴ります。  
 (例：1枚目→ピッ、3枚目→ピッピッピッ)

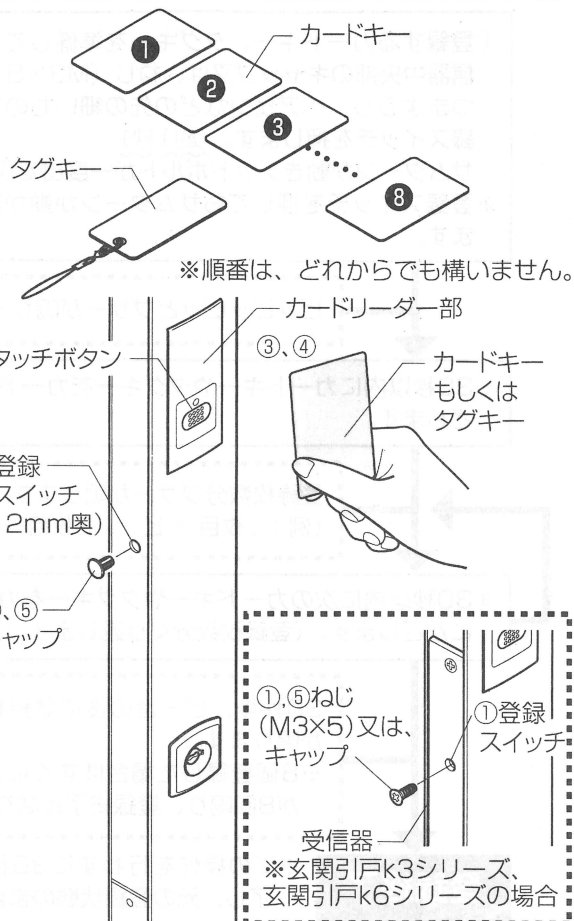
- ④30秒以内に次のカードキーやタグキーをカードリーダー部にかざします。(登録枚数分くり返します。)

30秒後、ピー音の後に登録枚数分のピッ音が鳴ります。  
 ※8個登録した場合はすぐにピー音とピッ音が8回鳴り、登録終了となります。

※③の操作を行わずに30秒経つと登録が終了し、元の登録状態のままとなります。

**登録終了**

- ⑤引戸を開けて、キャップ又は受信器のねじ (M3×5) を取付けます。縦枠カバーを外した場合は縦枠カバーをはめ込みます。



### 縦枠カバーの外し方について

- 縦枠カバーと箱錠の間のすき間にマイナスドライバーの先端を差込み、端から順番にこじりながら持ち上げるようにして外してください。すき間が全くない場合は、箱錠のねじを少しゆるめるとすき間ができます。ただし、箱錠は外さないでください。

※縦枠カバーをはめ込む際は、端から順番に軽くたたき込んでください。

※縦枠カバーを外したりはめ込む際は、キズ付いたり曲がらないように注意してください。

